



学校教育活動が再開しました！

4月18日（土）から新型コロナウイルス感染予防のため、市内全ての小中学校で臨時休業が始まって33日間が経過しましたが、いよいよ今日、子どもたちが元気に登校してきました。学校の再開です。今日はA班の授業日だったので全校児童の約半分の人数ではありましたが、子どもたちの明るい顔を見て、元気な声を聞いて本当に安心しました。

この休業期間中、保護者の皆様も大変ご苦勞なされたことと思います。特に家庭学習においては、子どもたちと一緒に真剣に課題と向き合ってくださいましたのではないのでしょうか？お手数おかけしました。本当にありがとうございました！

下の写真は本日（20日）の様子です。



（1年・国語の授業）



（3年・マスクをかける際の注意点）



（机を出してスペースの確保）

さて、確認にはなりますが来週の金曜日まで、いわゆる「段階的再開期間」です。その間に頭や体、心、そして生活習慣を少しずつ「学校モード」に切り替えていく必要があります。そして何もなければ6月1日（月）から通常通りの日程に戻ります。ただ、コロナウイルスは、期間はいつまでとははっきりいえませんが、しばらくは死滅しません。油断は禁物です。

これからも保護者の皆様と連携を図りつつ、子どもたちの健康を守りながら教育活動を進めていきますので、引き続いてのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい学校生活様式

このコロナウイルス感染拡大及びその予防・防止に向け、聞き慣れない新しい単語をよく耳にするようになりました。（「クラスター」「オーバーシュート」「ソーシャルディスタンス」等）

その中で厚生労働省が公表した「新しい生活様式」を受けて、いわき市教育委員会からも「新しい学校生活様式」（いわき市版）が提示されました。内容は「身体的距離を確保する」「症状がなくてもマスクを着用する」「外から帰ったら石けんで30秒程度手を洗う」など、今までにも何度か示された項目が多く含まれています。本日配布された各学年からのお便りや保健だよりの中にも何点か記載されています。子どもたちと一緒に繰り返し確認していきたいと思っています。

新型コロナウイルスの3つの顔

こちらを押さえておきたい新しい言葉です。日本赤十字社が自社のホームページに「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」というタイトルで掲載しています。

「（感染症としての）3つの顔」とは右の通り「病気」「不安」「差別」です。各学年の実態に応じて子どもたちに指導していきますが、このことについて次号より何度かにわけて紹介していきます。

